



## 「安全性が向上した」と地域からも好評の声！ ～北部国道事務所における交通安全対策の取り組み～

### 記者発表資料

北部国道事務所では、管内の「交通事故の削減」と「安全性の向上」を目的として、事故対策の取り組みを進めております。

今回、以下に示す2事業の取り組みをとりまとめましたので、お知らせします。  
今後も関係機関等と連携しながら、交通安全対策に取り組んでいきます。

#### ①バイパス整備により、現道交通量が減少、安全性が向上【国道58号恩納バイパス】

- ・国道58号現道区間の交通量が約6割減少（大型車交通量は約8割減少）
- ・国道58号現道区間の交通事故が約7割減少（H22:23件 ⇒ H25:8件）

#### ②滑り止め舗装や専用レーンの整備により、安全性が向上【国道329号金武地区】

- ・滑り止め舗装や路面標示の整備により、走行車両への注意喚起を実施
- ・右左折専用レーンの整備により、交通を円滑化、後続車の急な車線変更等を抑制

### 問い合わせ先

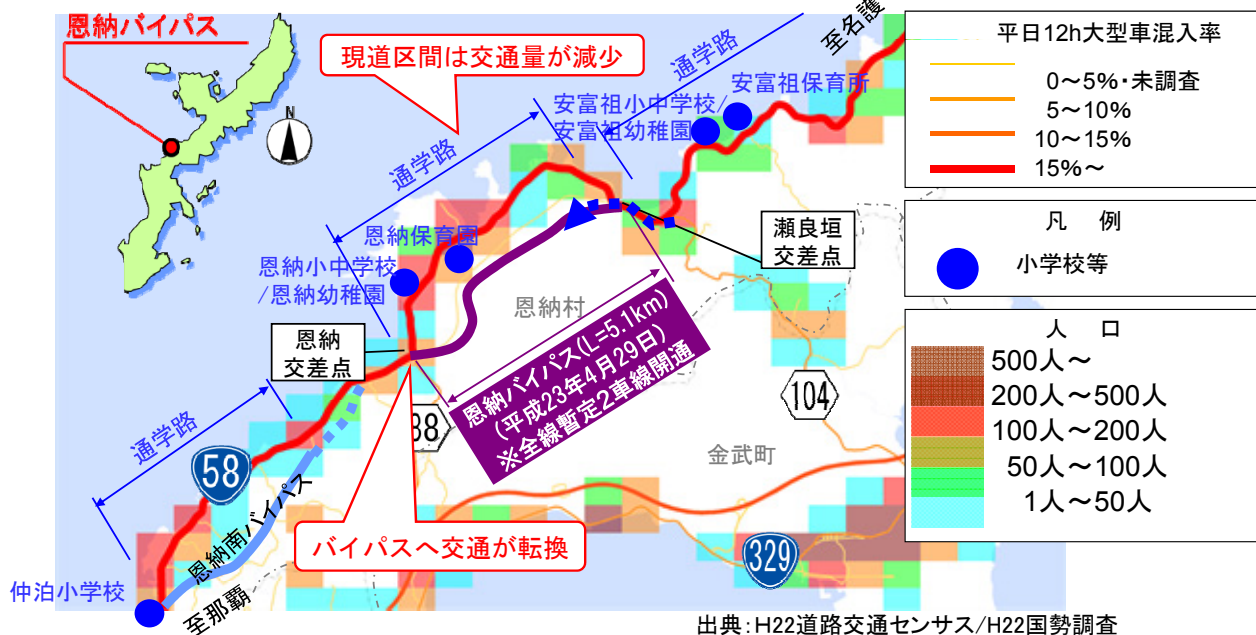
内閣府 沖縄総合事務局 北部国道事務所  
電 話 0980-52-4350 （代表）  
0980-52-1131 （FAX）

副所長 すながわ さとし （内線204）  
砂川 聡  
管理第二課長 なかまつ とくしゅう  
仲松 徳修 （内線441）

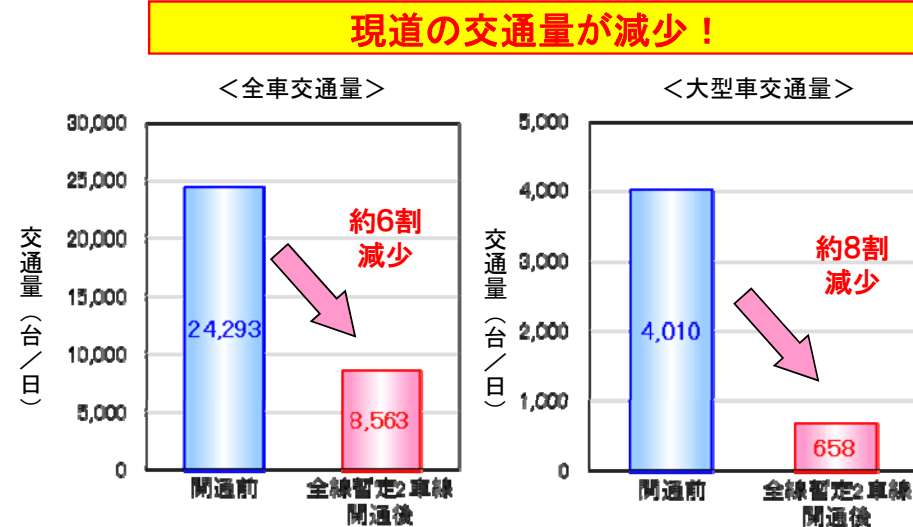
北部国道事務所ホームページ: <http://www.dc.ogb.go.jp/hokkoku/index.html>

# ①バイパス整備により、現道交通量が減少、安全性が向上【国道58号恩納バイパス】(1)

- 恩納バイパスの全線暫定2車線開通（平成23年4月29日）後、人口密集地域であり、かつ通学路に指定されている国道58号現道区間の交通量が約6割減少（大型車は約8割減少）（図2）
- 企業からは「輸送の確実性や運転時の快適性が向上した」などの声



▲図1 恩納バイパス周辺の大型車混入率と人口分布



出典: 交通量実態調査(恩納交差点)  
調査日: 開通前(平日): H21.8.25(火) (夏季観光シーズン)  
全線暫定2車線開通後(平日): H26.10.16(水)

▲図2 国道58号現道の交通量の変化

## 企業の声

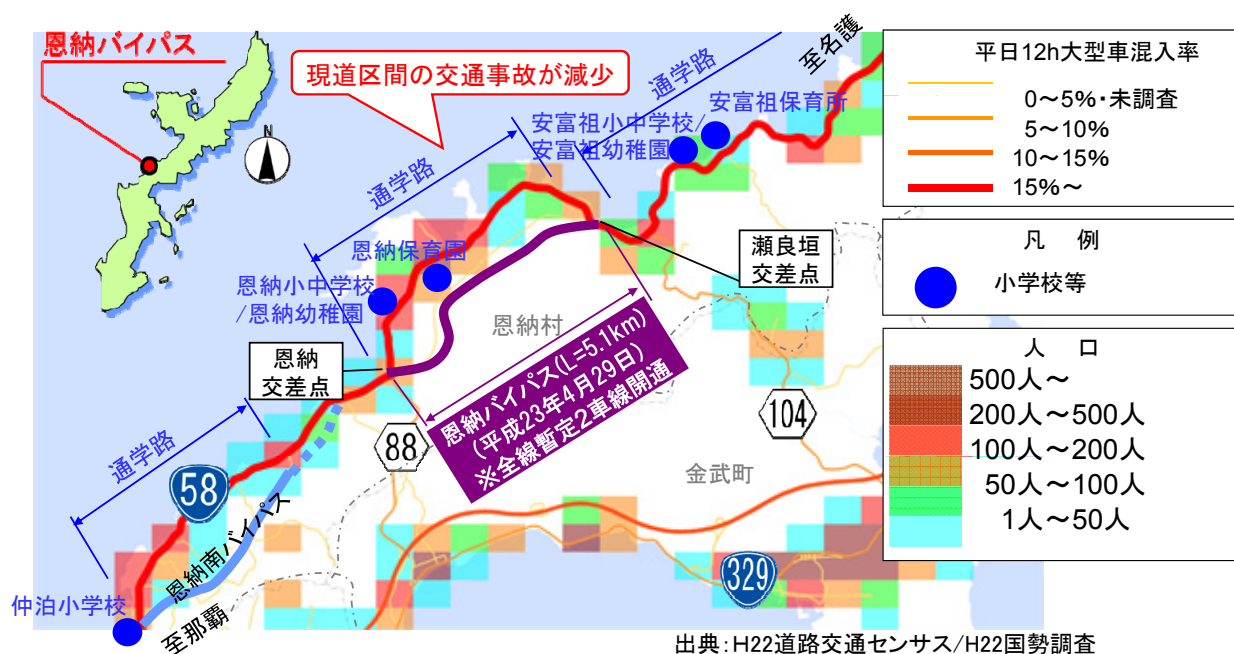
- 搬送ルートが複数(国道58号、恩納バイパス、沖縄自動車道)選択できることで、事故や災害時でも確実な輸送が可能になることは、企業にとって非常に心強い(飲料メーカー)
- 信号機を回避することで、ストップアンドゴーが減り、運転が快適になった(物流業者)

出典: H26北部国道事務所ヒアリング結果

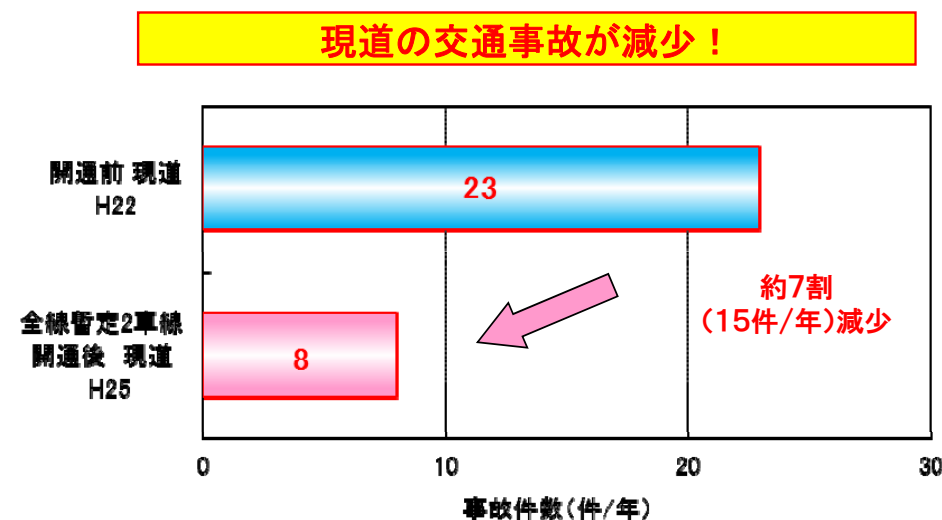


# ①バイパス整備により、現道交通量が減少、安全性が向上【国道58号恩納バイパス】(2)

- 恩納バイパスの全線暫定2車線開通（平成23年4月29日）後、**死傷事故件数が約7割減少**（図2）
- 地域住民からは「**歩行者の安全性が大幅に向上した**」などの声



▲図1 恩納バイパス周辺の大型車混入率と人口分布



出典：イタルダデータ(恩納交差点～瀬良垣交差点)  
調査日：開通前：H22 全線暫定2車線開通後：H25

▲図2 国道58号現道の死傷事故件数の変化

## 地域住民の声

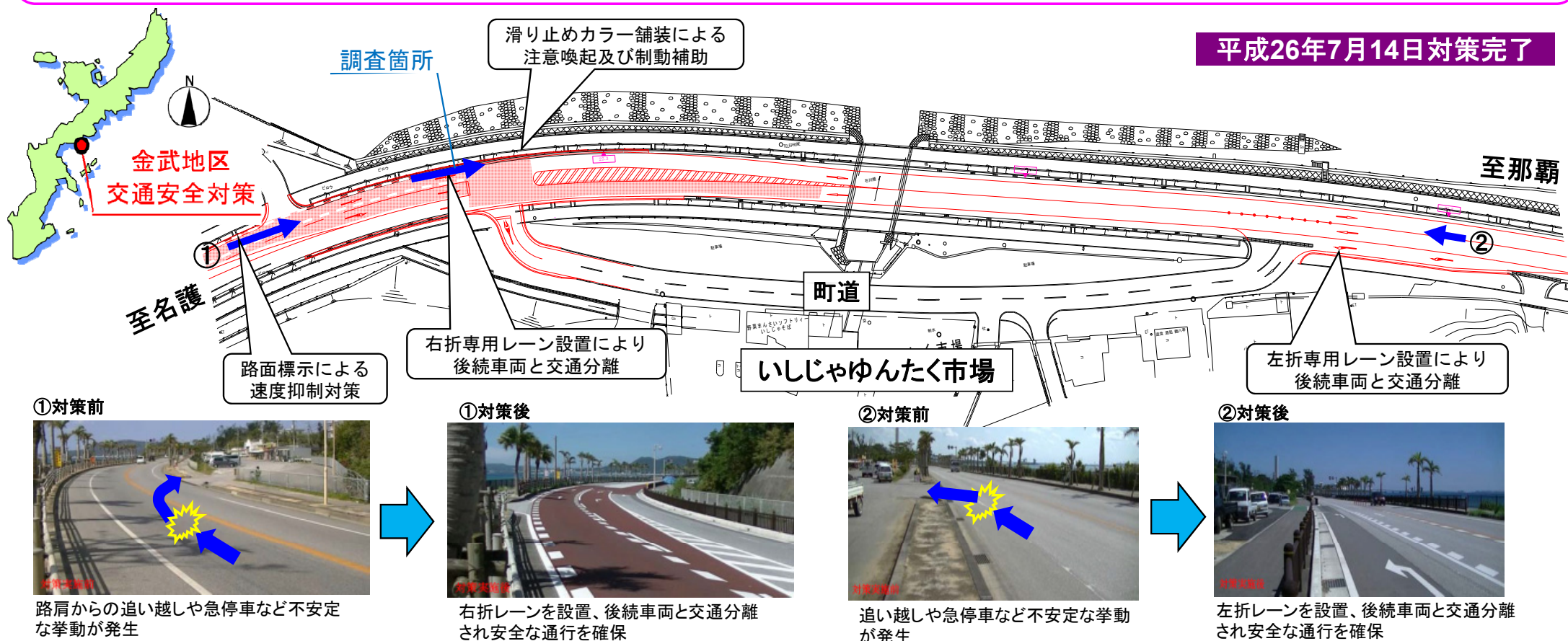
- 恩納バイパス全線暫定2車線開通に伴い、国道58号現道の交通量が減少し、通学路における事故の危険性が減少した(学校関係者)
- 走行速度が速く、車幅も大きいトラック交通がバイパスに転換したことで、歩行者の安全性が大幅に向上した(会社員)
- 国道58号現道では渋滞は大幅に緩和され、事故の危険性も減少した(自治体職員)

出典：H26北部国道事務所ヒアリング結果



## ②滑り止め舗装や専用レーンの整備により、安全性が向上【国道329号金武地区】(1)

- 当該区間は、見通しの良い緩やかな曲線で**速度が出やすい区間**であり危険な状態であったため、滑り止め舗装や路面標示により、走行車両への速度抑制等の注意喚起を実施
- 町道への進入の際に、後続車両速度が高いため、**制動遅れによる追突が多く発生**していたため、右左折専用レーンの整備により、直進後続車両と交通を分離



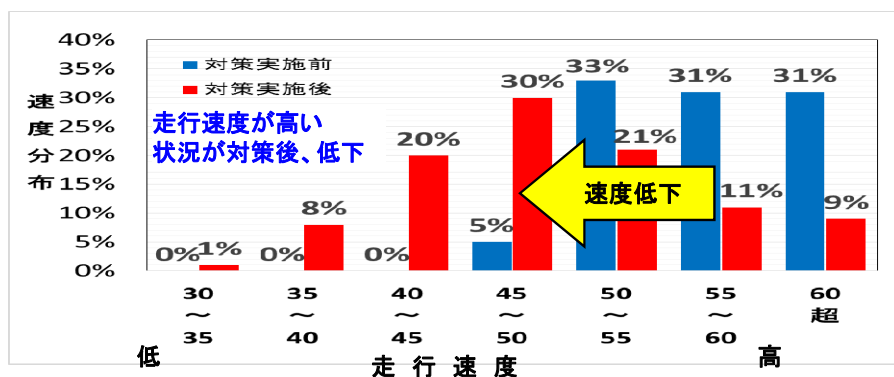
▲図 対策状況図



## ②滑り止め舗装や専用レーンの整備により、安全性が向上【国道329号金武地区】(2)

- 速度抑制対策により**走行速度が低下**（図1）
- 右左折専用レーンの整備により、交通を円滑化、**後続車の急な車線変更等を抑制**（図2）
- 地域住民からは「**出入りの際の車両の安全性が向上した**」などの声

### 車両の走行速度が低下！



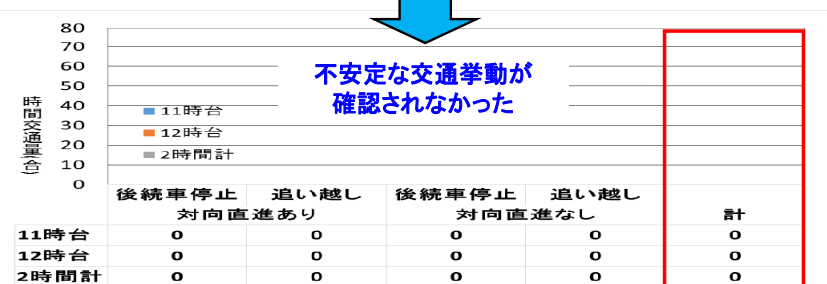
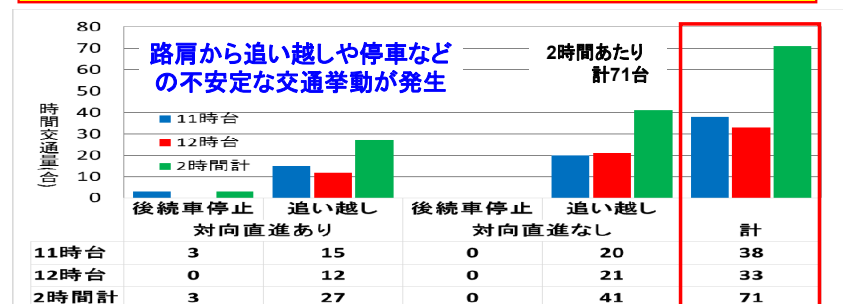
(対策前)  
走行速度50km/hを超える車両が9割超

(対策後)  
走行速度50km/hを超える車両が4割程度に低下

出典: 交通挙動調査  
調査日: 対策実施前H25.2.25(月)  
対策実施後H26.9.17(水)

▲図1 走行速度分布調査

### 車両の不安定な交通挙動が確認されなかった！



▲図2 交通挙動調査

### 地域住民の声

- 右折、左折専用車線が整備されたので、町道への出入りの際にゆとりをもって待てるようになった(市場関係者)
- 対策前と比べて、追突などの事故がほとんどなくなったように感じる(市場関係者)
- 対策前は走行速度が速くて、出入りの際に危険を感じていたが、走行速度が下がって安全性が向上した(地域住民)

出典: H27北部国道事務所ヒアリング結果

